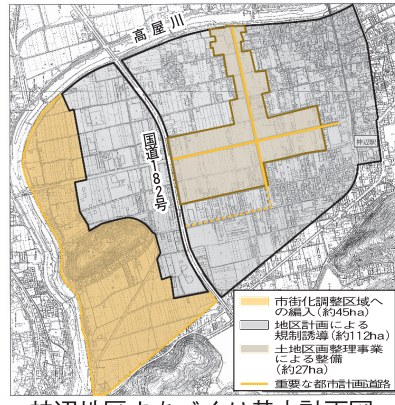


来年度の都市計画決定を目標に、手続きを進める考えである。

◆関連質問
・川南土地区画整理事業の取り組み
(水曜会)



神辺地区まちづくり基本計画図

協働のまちづくり推進事業補助金手続きの簡素化 (水曜会)

問 基金を活用して学区の推進委員会やボランティア団体などへ補助金が交付され、活動が進められているが、この補助金交付の手続きをもう少し簡単にしてほしいとの声があるべきでは。

答 補助金交付事務手続きについては、これまでも学区まちづくり推進委員会などから手続きが複雑であるとの意見もあり、事務マニユアルの充実など、必要な支援

を行ってきたが、今後も事務処理の問い合わせに迅速に対応するため、地域へ出向いての記入方法の説明など、きめ細やかな支援を行う。また、事務手続きの簡素化が可能な部分について、引き続き検討する。

4年制大学の開学に向けた取り組み (水曜会)

問 2011年の開学を目指し、2回の大学設置準備委員会が開催され、基本理念や教育課程、施設整備など協議されてきたと聞いている。開学に向けて、経済界など各界との意見交換も必要と考えるが、今後のスケジュールは。

答 大学設置準備委員会において、基本構想に基づき、教育研究体制の協議を行い、教育課程や施設などの整備計画と教員の確保や大学設置認可申請書の作成などに取り組み、2011年4月の開学を考えている。今後、経済界や学校関係者などのご意見を伺う場を設け、市民の皆さまの理解や協力が得られるような魅力ある市立大学を創っていく。

◆関連質問
・福山市立4年制大学の設置
(明政会)
・4年制大学の候補地
(市民連合)

障がい者施策ー親亡き後の不安についてー (市民連合)

問 寝たきりや、特別な医療行為を必要とする、重度の障がいを持つ子どもたちの保護者が抱える悩みの一つに、親亡き後の不安がある。療育や介護、就労などライフステージを一貫した自己実現が可能な支援体制を。

答 いわゆる親亡き後の不安については、障がいのある人の自立と社会参加を社会連帯で支えるという障害者自立支援法の理念を現実のものにするよう、ライフステージを通じた一貫した相談支援やサービス提供体制の充実に加え、家族の負担を軽減するためのサービスの充実などに取り組む。

障がい者施策ー社会参加と就労促進ー (市民連合)

問 障がい者の社会参加と本人、家族を含めた人生設計は、大きな課題である。重度の障がいを持った人にも利用できるような療育センター設置の展望は。また、障がいがあるが故に社会にとけ込めない人の社会参加に向けた支援方針、さらに就労促進への施策の具体は。

答 発達障がい等の早期発見と早期療育のための療育センターは、実現に向けて県および近隣自治体と協議を進めていく。就労促進策として、自立支援法の就労系サービスの利用を本市独自で軽減するほか、障がい者を雇用する事業主に対し奨励金を交付するとともに、ハローワークや福山人権啓発企業連絡会などと連携していく。

国保行政について (日本共産党)

問 国民健康保険の資格証明書は、市民の医療を受ける権利を奪い、命にかかわる重大問題を繰り返し求めてきた。特に生活保護基準以下の所得層および、